



特集

「もっと知りたい！サポセンのこと」

P.2～3 もっと知りたい！サポセンのこと@2014年4月～8月

P.4～5 よるカフェ(第5回・第6回)

P.6 ちがさき市民活動ガイドブック発行

P.7 NPO等と行政の協働に向けた意見交換会 / さぽちゃんが行く！

P.8 ちがさき市民活動サポートセンターからのお知らせ

『市民活動応援イベント・プログラム』～実施報告&今後の予定をご紹介します！～

317 団体が『市民活動ガイドブック』に登録

通算 13 冊目の今年はさらにボリュームUP！
詳しくは P6 をご覧ください。

毎月掲載！『市民の活動だより』

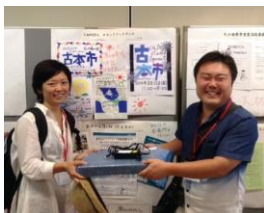
広報ちがさき(毎月 15 日号)にて市民活動団体を PR
中。「さぽちゃんニュース」では旬な情報をお届け！

『ニュースレター』サポセン特集号発行！

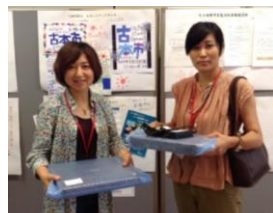
市民活動について知りたい方も、サポセンを使いこな
したい方にもオススメ！

『第 10 回かながわイーパーツリユース PC 寄贈プログラム』 茅ヶ崎は 2 団体に寄贈！

「情報発信をもっと活発にしたい」「事務所でみんなが
使える PC がほしい」団体にリユース PC を寄贈しま
した。次回申請団体募集期間は 2014/12/15(月)～
2015/1/23(金)を予定しています。



【NPO 法人セカンドブックアーチ】



【チーム団 cha】

『NPO 講座』まちメディア活用大作戦!!

ネットワークを築き、コツを学び、活動をもっと PR！
10/11(土)13:30～15:30@ちがさき市民活動サポ-センター

『ボランティア塾』

高校生が NPO からボランティアを学ぶ体験型授業。
今年のテーマは「災害」 11/21(金)鶴嶺高校で開催！

『ちがさきサポセン☆ワイワイまつり』

2015/3/7(土)に開催決定!! 参加団体の募集は、
11/15(土)～を予定。来年も中央公園に全員集合！

110 名が体験！受入団体数は 19 に…！

『ユースボランティア茅ヶ崎 2014』

7/23～9/15 に中学生から大学生くらいの青少年が福
祉・環境などの活動を体験。8/27 の交流会では体験者
55 名が互いに自身の感想をシェアしました。このプロ
グラムを通して、控えめな中にも、しっかり「自分」
を持っている若者が多くいるのだと実感。体験先での
様々な経験が、一人ひとりの知識を深め、小さな芽を
育てていくのだろうと明る
い気持ちになりました。
数年後、どんな花を咲かせ
るのか楽しみです。



『HP』トータルアクセス数 15,923！ イベント情報アップ数 240！

市民活動団体の最新情報やお役立ちコンテンツ満載！
各団体のイベント情報チラシもカラーでご覧いただけ
ます。また備品貸出などの各種手続きもウェブ上で
OK。パソコンで、スマホで、いつでもチェック！
リアルタイムなサポセンの情報をゲットできる、
twitter「@chigasapo」もフォローしてね♪

『イザ！カエルキャラバン！実施の後方支援』

子どもが楽しみながら防災の知恵や技を学ぶ新しい防
災訓練プログラム。自治会など 4 団体をサポート中！

『視察・研修受入、講師派遣』

4/10 茅ヶ崎市新採用職員研修講座 受講者 47 名
5/28 あいかわ町民活動サポートセンター職員視察 10 名
6/20 ボランティア大学講座 受講者 80 名
@茅ヶ崎市社会福祉協議会
8/13 ふじのくに東部 NPO 活動センター職員視察 3 名



▶市の新人職員が描く茅ヶ崎
の今・未来！
「行政と NPO との協働」を
テーマに協働事業の企画づく
りにチャレンジ！

一人ひとりの思いをしっかりサポート。 相談・問合せ 243 件 (4/1~8/31)

市民活動は十人十色。私らしい企画・活動にするためのお手伝いを2つの事例でご紹介します。

「ボランティアがしたい」

Q：県外の市立中学に通う2年生。20時間/年のボランティア活動することが課題となっており、夏休み期間中にできるボランティア先を紹介してほしい。

A：ユースボランティア茅ヶ崎の受付は終了しているが、中学生を受け入れている団体がいくつかあり、個別に確認をとってみることにした。また、ボランティアの心構えについて話し、ボランティア活動保険への加入もすすめた。

☞本人の希望をもとに、福祉作業所やライフセービング、サポセンのイベントのボランティアをすることになりました。

「活動を始めたい、他団体と連携したい」

Q：マスコミでは取り上げられない戦争の実態をより多くの人に伝えるため、映画の自主上映会を企画している。賛同団体をどのように募ればよいか。

A：市民活動ガイドブックに掲載されている人権擁護や平和活動を推進している団体を紹介。館内の団体メモリーファイルに保管してある、過去の映画上映チラシなども併せてご覧いただき、直接連絡をとり協力を求めていくことをすすめた。

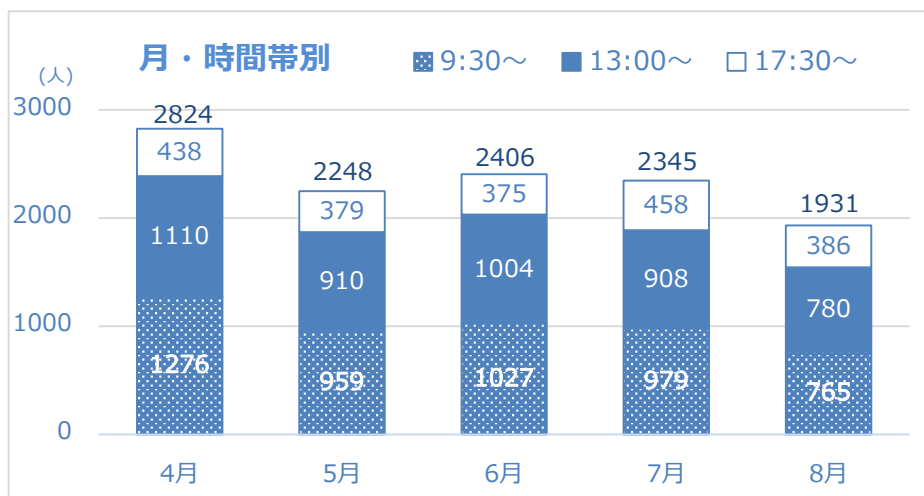
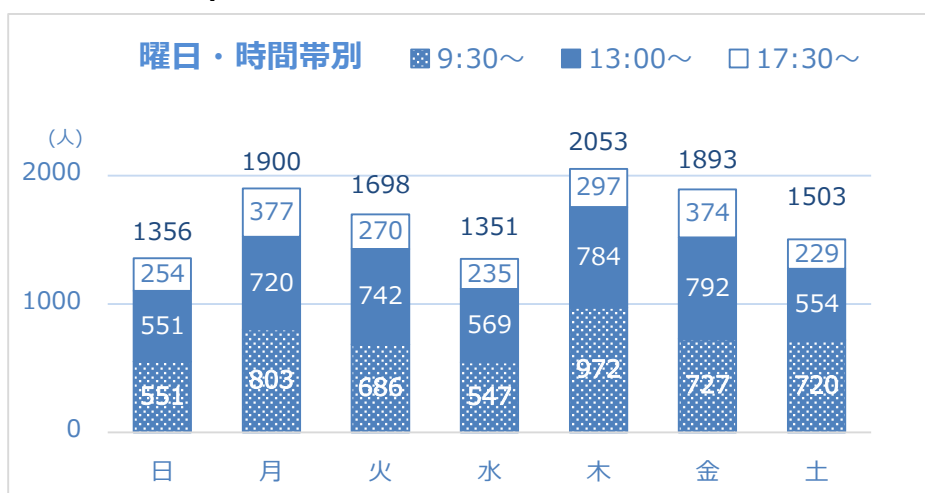
☞サポセンでの試写会をきっかけに、大学生のボランティアサークルをはじめ、4団体が協力することになりました。現在、9月の上映会に向けて、チラシの印刷やレターケースによる団体間の連絡仲介、プロジェクターのご利用など、サポセンをフルに活用いただいています。

速報！4月～8月の施設利用者数は11,754名

一番人気は木曜日！

▶他の公共施設がお休みの月曜日を抑えて、木曜日がトップに…！サポセンは第3水曜日が休館です。

▼時間帯別の傾向として、9:30～17:30は、印刷機・作業などの利用が多い傾向にあります。17:30～は学生・社会人の利用が多く、比較的落ち着いているので、ゆっくり会議や打合せをする際にオススメです。



さらなるサポセン活用術！

活動に役立つ様々な備品を貸出中。プロジェクター＆スクリーンが圧倒的な人気です！上映イベントなどにも利用できます。

図書貸出第1位は、昨年実施したNPO講座「広報のコツ講座」のカリスマ講師坂田静香さんの書籍。効果的な集客方法や成功するイベントのコツなど、具体的でわかりやすいアドバイスが満載です！

利用者の安全確保 & 防災に向けて

防災設備チェックおよび災害・緊急時対処訓練を実施しました。

8/20(水)普通救命(心肺蘇生法・AEDの使用法)講習会…スタッフ14名

9/1(月)かながわシェイクアウト(いっせい防災行動訓練)…利用者&スタッフ20名





「子どもと過ごす 豊かな時間」

できることから、キラキラ輝く“私”づくり

ゲスト：片山どんぐりさん
音のひろば 主宰
おもちゃコンサルタント

日時：6/27(金)10:00~12:00
場所：ちがさき市民活動サポートセンター
参加：35名



▲片山さんのお話は、子どもと一緒に楽しく過ごすアイデアが満載！

もっと前向きに子育てを楽しみたい！

「いつもピリピリイライラ育児してしまう。自分の心を満たして子どもに優しく接してあげたい」「子どもとの時間を今以上に大切にできるヒントが得られれば」

2014年度最初の「よるカフェ」は、外出する機会が少ない、小さな子どもを持つ母親たちにも参加してほしい！という強い思いから、朝の時間帯に開催。

“子育て中の今だからできる楽しいこと” “豊かとは何か”について語り合いました。



◀“豊か”ってどんなこと？健康であること、おいしいものが食べられること、家族がいつも笑顔でいられること...豊かな自分を想像して幸せな気持ちでいっぱい。

のんびり のんびり ゆったり ゆったり もたもた もたもた ありがとう~♪

ひとりで悩みを抱える母親たちの心を優しくほぐしてくれたのは、ゲストの片山どんぐりさん。

「子育ても家事もやり方はひとつではない」。

ご自身の子育て経験から、自分なりのほんのちょっとした工夫やこだわりで家族みんなを喜ばせることができること、気持ちひとつで子どもとゆったり過ごすことができることをお話くださいました。

子どもが描いた絵で作ったパズルや、子どもが撮った写真とことばをまとめた絵本など、3人の子どもたちの思い出の作品も登場。

ただ過ぎていく日常も、面倒や困難なことも、いつも楽しく面白く乗り越えてきた片山さんの豊かな発想力と創造性に触れ、誰もが「私にもできるかも」「やってみよう！」と前向きな気持ちになれました。

ママと子どもたち、それぞれの豊かな時間



▲子どもたちの自由な遊びを尊重しつつ傍らで全力で見守る保育スタッフ

当日のサポセンは、さながら保育園のよう。どんぐりさんが持参した“木のおもちゃ”で溢れる、夢の空間になりました。

参加者からは、「託児があり、久しぶりに子どもと離れて、ゆっくり、普段あまり考えない話が出て楽しかった」「いつもおしゃべりする友人とまた違う環境の人の話を聞くことができ、とても充実した時間を過ごすことができた」など、嬉しいコメントをたくさんいただきました。

「豊かな時間」を過ごすことができたのは、スタッフも同じです(^_^)

第6回よるカフェ 「フェアトレード」しあわせつづく、支援のかたち



▲フェアトレードで大切なのは Slow+Small+Sustainable +Smile(楽しく笑顔で)！

ゲスト：永田恵子さん
「ネパールとの架け橋
ねばるば」代表

日時：8/22(金)18:30~20:30
場所：ちがさき市民活動サポートセンター
参加：29名



ネパールのことが知りたい、そして新たな出会いを求めて...

8月のよるカフェは通常どおり夜の開催。まず、ゲームを通して、世界経済のしくみや国と国との格差がなぜ生まれるのかを全員で体感。決められた物を作るために、知恵を出し合い、他グループと交渉し、みんなで力を合わせて頑張りました。

後半は、ネパール・パルパ郡のお話から。茅ヶ崎を出発して、なんと4日目(!)の夕方に到着するそうです。

それほど遠い国への支援活動を続けてきた永田さん



のお話は、ネパールへの愛にあふれていました。

◀え？グループによって持ち物や材料が違うの？

「フェアトレード」とは、支援する人もされる人も一緒に考える「しあわせ」のしくみ

医療、教育、水道、ガス、電気など、あらゆるモノが不足する中、「水は命」と知り、活動の始まりは、「水場」をつくることでした。「ありがとう」という言葉をたくさんいただいたものの、村人との距離を感じてしまったという永田さん。ただ何かをしてください、に伝えるだけでなく、一緒に考え、村人が自分自身の手で問題

解決し、家族を支えることができる「頑張れるしくみ」を共につくっていくこと、それが「フェアトレード」の本当の意味だということに気づかされました。



永田さんからの言葉の贈り物——「私たちができる最大のボランティアは、自分自身が一生懸命生きること」

嬉しかったのは、小学5年生から高校生まで、子どもたちが参加してくれたこと。



・パルパ郡の子どもたちは、家計のために仕事をする。日本ではありえない。僕より年下の子どもたちが仕事をしてると考えると胸が苦しい。(中学2年生)

・総合的な学習の時間で飢えについて調べていた。フェアトレードの商品を買うことで命が救われるなら、たくさん買いたい。命の重さを知ることができた。(中学3年生)

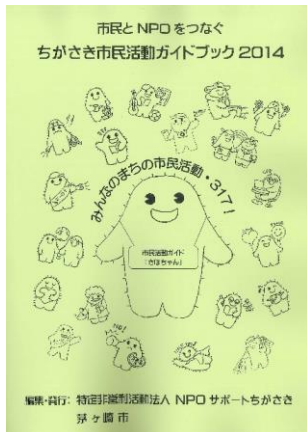
・1年生のときに2週間フィリピンのセブ島に行った。道を一つはさむとボロボロの家があったり、観光中に小さな女の子が自分で作ったものを『買って！買って！』と物乞いしてきたり、本当にそれが衝撃で今でも忘れることができない。どうしてこんなに国によって貧富の差があるんだろう。この状況を、自分ができることがあるならば変えたい！(高校3年生)

永田さんの「熱く優しい思い」に触れ、恵まれた環境で暮らす自分に何ができるのか、しっかりと考え、力強く生きていってほしいと願っています。

【予告】
第7回よるカフェ

「ひとりのちから~私の思いと被災地支援」南三陸仮設住宅に笑を取り戻した落語のおはなし
10月24日(金)18:30~20:30@ちがさき市民活動サポートセンター 参加費:500円
ゲスト:小野間博さん(Team Aid for Japan~しよなん茅ヶ崎災害ボランティア)

ちがさき市民活動ガイドブック発行！



▷今年も緑色の表紙が目印！

団体の魅力がギュッと詰まった一冊

茅ヶ崎市には、まちを良くするために自ら進んで公益的な活動に取り組む団体が数多く存在しています。この本は、そんな団体の活動内容や目標など、強く優しい思いが溢れた一冊です。今年度は317団体を掲載しています。

活動を始め方へのお役立ち情報が満載

冊子には「ボランティアがしたい」「メンバーの一員になりたい」と思ったときに役立つ各団体の連絡先に関する情報を掲載しています。さらに、ボランティアやNPO法人の基礎知識、茅ヶ崎市民活動サポートセンターの活用方法のほか、市内メディアの連絡先など、活動に役立つヒントも満載！2002年より毎年発行し、今年で13冊目。1,200部発行し、市内公共施設等で入手できます。団体情報はホームページでも閲覧OK。新規掲載申込&登録内容変更は随時受付中です。

登録分野掲載数 ベスト3

保健・医療又は福祉：89団体、学術・文化・芸術・スポーツ：78団体、子どもの健全育成：65団体

累計登録数（解散含む）

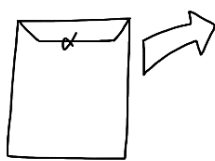
436団体（2002年4月～2014年8月）

登録して良かったこと 「市民活動ガイドブック」に関するアンケート結果より（2014年5月実施）

- ①サポセンからの情報提供 ②他団体の情報収集 ③市主催のまつりへの参加
- ④市広報『市民の活動だより』での活動PR ⑤コラボレーションしたい団体の検索
- ⑥学校・企業・行政からの問合せ ⑦会員の増加 ⑧信頼度UP ⑨さぼちゃんポストでの切手寄贈 など

～密着！ガイドブック完成までの道のり～

4月 内容確認



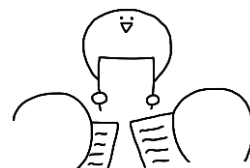
前年度の掲載情報や、変更届など書類一式を全登録団体に送付します。

5月 データ入力



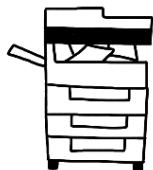
返送書類を元に、団体のデータベースを修正。入力ミスがないように集中して作業！

6月 最終チェック



スタッフ総出で原本との確認。お名前やメールアドレスなどは特に注意しています。

7月 印刷・製本



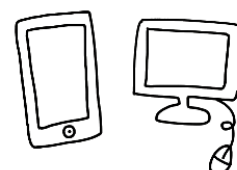
一旦プリントし、更に総チェック。目次や記事内容も再確認して、印刷！！

8月 完成！



出来上がったガイドブックには、各団体の活動への情熱とスタッフの熱意がぎゅっ！

8月下旬 HP掲載



HPを最新のデータに更新！いつでもどこでも閲覧できます。

NPO 等と行政の協働に向けた意見交換会

まちの課題解決に向けてアイデア交換

NPO 等（市民活動団体、事業者や営利を目的としない法人等）が9団体、市はのべ21の担当課が参加！①協働推進事業実施の可能性、②協力し合うことができる接点、③それぞれの立場でできることを探りました。日頃の活動はもちろん、取り組むことができずにいる悩みなども伝え合い、実現に向けてアイデアを共有しました。



	テーマ	NPO 等	行政
7/26	新たなアプローチによる「景観まちづくり」の他地域への水平展開 他	富士ゼロックス神奈川(株) まち景まち観フォーラム・茅ヶ崎	景観みどり課、秘書広報課、産業振興課 社会教育課、市民自治推進課
7/29	文字通り安全な通りにするには	ラチエン通りの安全安心を進める会	安全対策課、道路管理課、都市政策課
	スポーツ関係団体やイベントの情報提供の拡大	認定 NPO 法人湘南ふじさわシニアネット	スポーツ健康課、文化生涯学習課
	人と環境に優しい、茅ヶ崎に似合う外出支援事業について	サイクルキャビン	安全対策課、スポーツ健康課、高齢福祉介護課 障害福祉課
	平成 25 年度以来の交流からつながる企業・NPO・行政・大学の交流ネットワークの拡充	特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき	市民自治推進課、企画経営課、産業振興課
	学校の ICT 化推進への情報提供と支援について	認定 NPO 法人湘南ふじさわシニアネット	教育政策課、学校教育指導課、教育総務課
8/1	芸術を介した“茅ヶ崎発”の子育て支援の確立と実践	アートケアひろば	こども育成相談課、文化生涯学習課 教育センター
8/4	未就学児の親の新しい働き方の提案～職住近接で、地域に根差した育て方・暮らし方～	うみのあお、そらのあお	子育て支援課、男女共同参画課、雇用労働課

11/1(土)公開プレゼンテーション@市役所分庁舎 6 階コミュニティホール（詳細は茅ヶ崎市HPにて）



茅ヶ崎で活躍中の NPO を、追っかけレポート！！

さぽちゃんが行く！

平成 26 年度 市民提案型
協働推進事業実施団体 編

チーム・ミモザ

子育て中のお母さんたちの支援と、音楽を通じた活動を老人ホームなどで行う。メンバー 13 名。
現在、茅ヶ崎市こども育成相談課と「親子の絆づくりプログラム 赤ちゃんがきた！」に取り組んでいる。

茅ヶ崎市とタッグ！子育て支援プログラム

会場へ足を踏み入れると、元気な赤ちゃんの声とお母さんたちの和やかな会話が広がっています。生後 2 か月から 5 か月の初めての子どもを育てているお母さんが、赤ちゃんと一緒に楽しく学び、仲間づくりができる参加型プログラムです。

運営はチーム・ミモザのメンバーと茅ヶ崎市の保健師さんが担当。交流タイムではどちらのスタッフにも個別に相談することができるため、子どもの発育面のこと、お母さん自身のこと、さまざまな悩みに具体的な解決策を見出すことができます。

「お母さんたちが講座の帰りにお互いの連絡先を交換するなど、想像を超えた強い絆が生まれつつあります」と、代表の金澤玲子さん。プログラムをきっかけに、仲間の輪が広がっていく予感がふくらみます。



きっかけは、サポセン事業への参加

こども育成相談課とタッグを組んだこの事業の始まりは、2014 年 8 月の「NPO 等と行政の協働に向けた意見交換会」。チーム・ミモザからの提案、「0 歳児をもつ母親が、赤ちゃんを安心して育てられるためには、どのようなサポートが望ましいか」というテーマを子育て支援課・こども育成相談課と話し合いました。その後、協議を重ねて企画書を作成・申請し、公開プレゼンテーション、市議会での審議・議決を経て「思い」が「カタチ」となりました。

次の世代へ恩返しを

金澤さんは、ご自身の子育て期間を振り返りつつ、「私も周りの方々の助けがなければ子育ては絶対にできなかった。今度は、少しでもその時の恩返しをしたい。その時の思いを次の世代につなげられたら。」と、話します。赤ちゃんとお母さんを見守るまなざしから、強くやさしい思いが感じられました。

編集後記



はだの

今年の夏は週に1回、仕事帰りにプールでひと泳ぎ。体力づくりに励みました。秋は景色を楽しみながらランニング！穏やかな気候が続くこの季節を大切に過ごしたいですね。

センタースタッフはみんなお料理上手！ゴーヤの美味しいレシピをたくさん教えてもらいました。秋の味覚にまつわるイベントも色々あるので、参加して私も腕を磨きたいと思います！



しばた



すずき

秋といえば、食欲の秋、スポーツの秋…楽しいことがたくさんありますが、やっぱり読書の秋。センターの図書コーナーはとても充実しているので、ぜひご利用ください！

「市民活動げんき基金」に寄付します！

ゴーヤ&ラベンダー募金総額 ¥9.872-

センター壁面を覆うゴーヤのグリーンカーテンが、今年もすくすく、のびのびと蔓を伸ばし、かわいらしい実をたくさんつけました。花壇整備のボランティアさんや、ユースボランティア体験の学生さんと毎日水やり。食べごろ?!に育つ様子を見守りつつ、収穫したゴーヤは施設利用者でご希望の方にお分けしました。その際にお預かりした募金は、市民のための公益的な事業を財政面で応援する「市民活動げんき基金」に寄付します。

また、今年は花壇で育ったラベンダーもお分けしました。館内全体にやさしい香りが拡がり、猛烈な夏の暑さを一時忘れリラックス。後日、ポプリにしてお届けいただくという嬉しいエピソードもありました。

皆さんの温かな気持ちが、茅ヶ崎の、次の「げんき」につながりますように！

“ワンディーカフェ・ねばるば”
毎週火曜日 11時～15時 OPEN

飲んで国際支援。コーヒーorティー1杯につき、30円(お米約1kg分)をネパールに寄付することができます。上記以外の時間帯は、ワンドリップコーヒーとオーガニックティーをセルフサービスにて提供しています。(2015年3月末までの期間限定)

イオン茅ヶ崎店(旧サティ)1F
テナントスペース活用スタート!

期間：2014/9/30(火)～12/26(金)
市民活動を紹介できる新たな拠点として、無償で空きスペースを情報発信やイベント等に活用することができます。共感、感動、支援を生む企画提案をお待ちしています。お問い合わせはサポートセンターへ。(担当：堀江・柴)

ちがさき市民活動サポートセンターとは

市民活動団体やNPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちや、これから活動しようと考えている人たちの拠点施設です。



開館時間

9:30～21:30

休館日

毎月第3水曜日、年末年始(12/28～1/3)

アクセス

JR茅ヶ崎駅北口より徒歩10分くらい
駐車場10台程度

連絡先

〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-2-7
TEL/FAX: 0467-88-7546
Eメール: s-center@pluto.plala.or.jp
ホームページ: http://sapocen.net/



指定管理者

特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき 指定管理期間：2013年4月1日～2017年3月31日